

OMOIYARI ドア

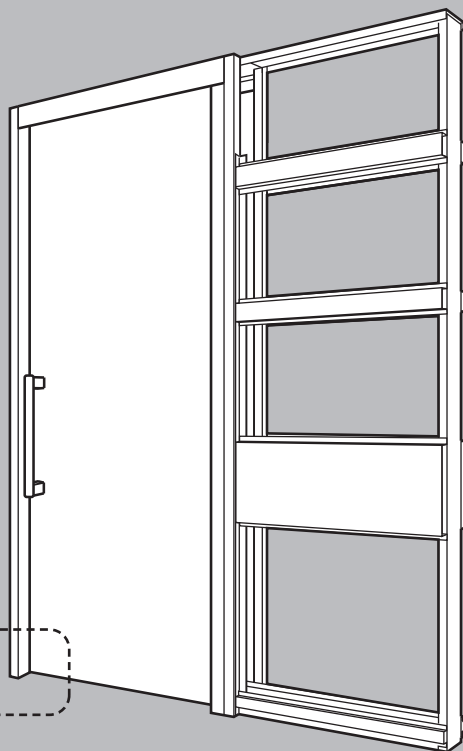
吊戸 片引<スチール戸袋> ラクラクローズ機能付・自閉機能付

●開口部側の枠に同梱されている施工説明書と併せてお使いください。

「施工業者様へのお願い」

弊社では、お施主様が製品を安全に正しくご使用いただくためのお願い事項やお手入れ方法などの重要な内容を記載した「取扱説明書」を添付しております。必ず、お施主様に手渡していただきますようお願いいたします。

(取扱説明書は弊社HP <https://www.daiken.jp/qr/manual/> よりダウンロードも可能です)



⚠ 注意

・本製品は、高さカットなしで床上に施工する仕様としております。
枠をカットせずにお使い下さい。

縦枠下部



もくじ

1. 安全上のご注意 …………… 1
2. 製品寸法図 …………… 2~3
3. 部材・部品表 …………… 4~5
4. 施工方法 …………… 6~9

- この製品の性能と安全性を確保するために、この施工説明書をよくお読みいただき、手順通りに正しく施工してください。
- この説明書に出てくる **!**、**⊘** マークや **お願い** は、施工上重要な内容が記載されていますので、注意深く読み、よく理解してから作業してください。



■施工の際は以下の工具をご用意ください。

- 電動ドリル(+2番ビット)
- コンベックス等測定機器
- 水準器
- 手回しドライバー



1. 安全上のご注意 (必ずお守りいただきたいこと)

弊社製品を長時間安全に使えるよう施工するために、またトラブルのない確実な施工をしていただくために、以下のことを必ずお守りください。

警告表示の種類と内容


	警告	誤った取扱いにより死亡や重傷などに結びつく可能性のある内容
	注意	誤った取扱いにより傷害または家屋・家財などの損害に結びつく内容


本文中に使われている図・記号の意味は次のとおりです。

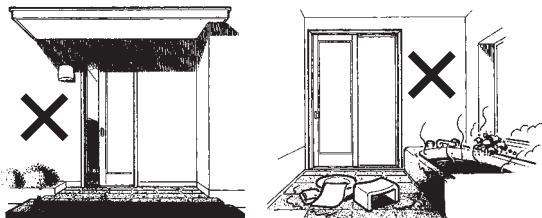
	してはいけない内容です		必ず実行していただく内容です	お願い	留意事項、操作方法、使用・お手入れ方法等
---	-------------	---	----------------	------------	----------------------

施工上のご注意

注意

	<ul style="list-style-type: none">・鴨居を取り付けるまぐさは必ず強度のある梁から、吊束又は吊りボルトで補強してください。梁が弱いと鴨居が垂れ下がり、扉がスムーズに開閉できません。・施工に使用する部品は「現場手配」と明記の無いもの以外は、必ず付属部品および指定部品を使用する・扉に吊車が確実にハマっていることを確認する・枠、レールの躯体への固定を確実にこなう・施工は本説明書にしたがって確実にこなう
---	---


 この引戸は室内用吊戸です。他の用途へのご使用はおやめください。




 工事が完成するまでの間、扉は立てかけて保管しないでください。

施工するまで保管するときは、湿気が高い場所や直射日光が当たる場所を避けてください。扉は水平な場所に平積みして保管してください。


工事が完成するまで、製品をダンボールなどで養生してください。その際、養生テープを製品に直接貼らないでください。

 本説明書は当社カタログに掲載の標準品に準じた寸法を表示しております。特注・特寸で製造した製品については、現品のサイズ・加工などを確認のうえ施工してください。

 照明灯、ストーブなどを近づけすぎないでください。熱によるシート変色、ふくれ等の原因となります。

扉・枠及び金具、ガラスに工具などをぶつけたり、運搬時にひきずらないようご注意ください。傷をつけるおそれがあります。



 ビスの締め付け不足、またはビスの締め過ぎによる空回りの状態に注意してください。製品が外れて、けがや破損のおそれがあります。

3. 部材・部品表 <ラクラクローズ機能付>

(施工前に必ず部品を確認してください)

	部品名称	数量	部品名称	数量
扉セット	① 扉本体	1	② ガイドピン本体	1
	振れ止め金具 (扉側) ※扉本体に取付け済み	1	取付ビス(木下地用) : $\phi 4.0 \times 16$	2
			コンクリート用ビス : $\phi 4.0 \times 25$ +コンクリートプラグ (2本) 下穴 $\phi 5 \times 35$	2

開口枠セット	③ 鴨居	1	④ 幕板	1
	⑤ 縦枠	1	⑥ 方立	2
	⑦ 付方立 (モヘア取付済)	2		
	⑧ ビスセット			
	開口枠 組立ビス : $\phi 4.2 \times 55$	4	スレンダービス : $\phi 3.3 \times 50$	2
	付方立取付ビス : $\phi 4.0 \times 40$ なベタタッピングビス	8	幕板取付ビス : $\phi 3.0 \times 40$ なベタタッピングビス	3
⑨ 戸当たりキャップ (大)	16	施工説明書・取扱説明書 (開口枠用) ※必ずお施主様にお渡しください。	1	
⑩ 幕板ビスキャップ (小)	6			
⑪ 振れ止め金具 (枠側) ナベビス $\phi 4 \times 12$ (2本)	1			

レールセット	⑫ 吊戸レール(戸先/戸尻) ※取付ビスは特注サイズによって変わります。	各1	
	取付ビス	10	$\phi 3.5 \times 50$
	⑬ ラクラクローズ機能付 吊車	1	
	⑭ 吊車 (ラクラクローズ機能なし)	1	
	⑮ トリガー	2	
	⑭ 吊車 (ラクラクローズ機能なし)	2	
⑯ 吊戸ストッパー	1		※ラクラクローズ機能なしの場合のみ使用

※スチール戸袋は、梱包A/Bの2梱包に分かれています。(下記指定部品以外は、梱包A)

スチール戸袋セット	⑰ 戸袋 戸尻縦枠	1	⑱ 戸袋 方立アングル (手前側)	1
	⑲ 戸袋 方立アングル (奥側)	1	⑳ 戸袋 小パネル ※梱包B	4
	㉑ 戸袋 大パネル ※梱包B	2	㉒ 戸袋 下パネル ※梱包B	2
	㉓ 戸袋 下パネルブラケット	3	㉔ 戸当りゴム	1
	㉕ ビスセット			
	縦枠施工用ビス : $\phi 4 \times 50$ なベドリルビス	10	上枠施工用ビス : $\phi 4 \times 40$ 皿ドリルビス	8
戸袋 下パネルブラケット 床施工用ビス : $\phi 4 \times 38$ なベコンクリートビス	4	方立アングル取付ビス : $\phi 4 \times 16$ トラスタッピング	18	
戸袋 下パネルブラケット 組立ネジ : M4×6 トラス小ネジ	7	戸袋 組立ネジ : M4×6 D7 皿小ネジ	34	
施工説明書・取扱説明書 (本書) ※必ずお施主様にお渡しください。	1	戸当りゴム 取付ネジ : $\phi 4 \times 40$ なベタタッピング	1	

※スチール戸袋のビスは予備を含んだ数を同梱しております。各施工手順のビスの選択に間違いの無いようご注意ください。

※にぎりバー、カマ錠などの金具類は、別紙 開口枠の施工説明書の部品表を参照ください。

<自閉機能付>

(施工前に必ず部品を確認してください)

	部品名称	数量	部品名称	数量
扉セット	① 扉本体	1	② ガイドピン本体	1
	振れ止め金具 (扉側) ※扉本体に取付け済み	1	取付ビス(木下地用) : $\phi 4.0 \times 16$	2
			コンクリート用ビス : $\phi 4.0 \times 25$ +コンクリートプラグ (2本) 下穴 $\phi 5 \times 35$	2

開口枠セット	③ 鴨居	1	④ 幕板	1
	⑤ 縦枠	1	⑥ 方立	2
	⑦ 付方立 (モヘア取付済)	2		
	⑧ ビスセット			
	開口枠 組立ビス : $\phi 4.2 \times 55$	2	スレンダービス : $\phi 3.3 \times 50$	2
	付方立取付ビス : $\phi 4.0 \times 40$ なベタタッピングビス	8	幕板取付ビス : $\phi 3.0 \times 40$ なベタタッピングビス	3
⑨ 戸当りキャップ (大)	16	施工説明書・取扱説明書 (開口枠用) ※必ずお施主様にお渡しください。	1	
⑩ 幕板ビスキャップ (小)	6			
⑪ 振れ止め金具 (枠側) ナベビス $\phi 4 \times 12$ (2本)	1			

レールセット	⑫ 吊戸レール (戸先/戸尻) ※取付ビスは特注サイズによって変わります。			各1※
	レール固定ビス	トラス $\phi 3.5 \times 50$		10
	⑭ 戸先 吊車 ユニット	1	⑬ 空気圧調整穴隠しキャップ (穴 $\phi 12.3$)	2
	⑮ 戸尻 吊車	1	※引込用戸尻レール・ビスセットは 2022年6月21日よりレールセットに同梱 (2022年6月21日より前は枠に同梱)	
	⑯ ダンパーストッパー	1		
	⑰ 全開キャッチ	1		
⑱ ワイヤフック	2			

※スチール戸袋は、梱包A/Bの2梱包に分かれています。(下記指定部品以外は、梱包A)

スチール戸袋セット	⑲ 戸袋 戸尻縦枠	1	⑳ 戸袋 方立アングル (手前側)	1
	㉑ 戸袋 方立アングル (奥側)	1	㉒ 戸袋 小パネル ※梱包B	4
	㉓ 戸袋 大パネル ※梱包B	2	㉔ 戸袋 下パネル ※梱包B	2
	㉕ 戸袋 下パネルブラケット	3	㉖ 戸当りゴム	1
	㉗ ビスセット			
	縦枠施工用ビス : $\phi 4 \times 50$ なベドリルビス	10	上枠施工用ビス : $\phi 4 \times 40$ 皿ドリルビス	8
戸袋 下パネルブラケット 床施工用ビス : $\phi 4 \times 38$ なベコンクリートビス	4	方立アングル取付ビス : $\phi 4 \times 16$ トラストタッピング	18	
戸袋 下パネルブラケット 組立ネジ : M4×6 トラス小ネジ	7	戸袋 組立ネジ : M4×6 皿小ネジ	34	
施工説明書・取扱説明書 (本書) ※必ずお施主様にお渡しください。	1	戸当りゴム 取付ネジ : $\phi 4 \times 40$ なベタタッピング	1	

※スチール戸袋のビスは予備を含んだ数を同梱しております。各施工手順のビスの選択に間違いの無いようご注意ください。

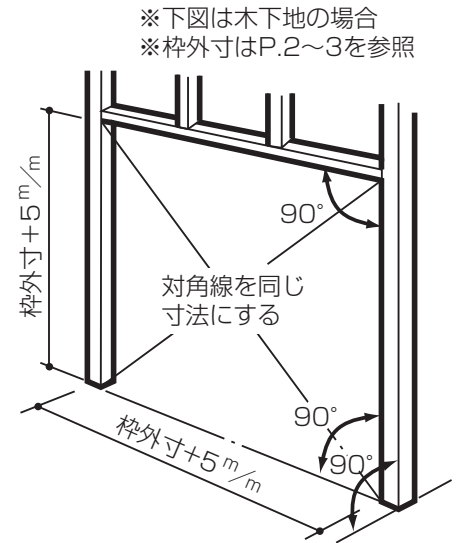
※にぎりバー、カマ錠などの金具類は、別紙 開口枠の施工説明書の部品表を参照ください。

4. 施工方法

準備

- ◆扉は上吊り式です。(最大扉重量40kg)
必ず強度のある躯体に取り付けをお願いします。
木造下地：強度のある梁から、吊り束又は吊りボルトで補強してください。
軽量鉄骨下地：開口部に補強材が必要になるため、開口寸法は現場にて調整してください。

木造下地の梁の断面寸法	105×180mm以上
軽量鉄骨下地の開口補強材	t1.6厚み以上 ※公共建築工事標準仕様による場合

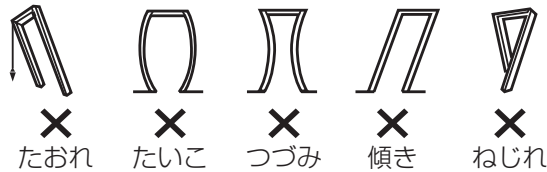


- ◆開口部の幅・高さの寸法を十分に確保してください。
- ◆本製品は、躯体に幅65mmの軽量鉄骨と石膏ボード2枚貼りを想定しています。
躯体が木造の場合は、相応の下地をご用意ください。

! 梁が弱いと上枠が垂れ下り、扉がスムーズに開閉できません。

- ◆柱の垂直、床・まぐさの水平を、下げ振り・水準器でよく確認してください。

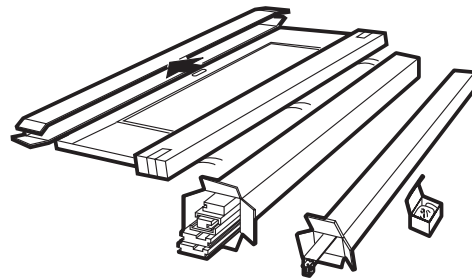
図の様なことがあった場合、扉が閉まらないことがあります。



施工の前に

梱包を開けて部品を確認してください。

! **注意** スチール戸袋を組み立てる際は、けが防止のために必ず手袋を着用してください。



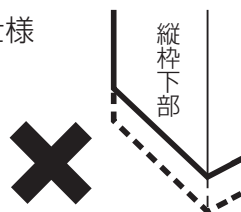
<ラクラクローズ機能付の場合>

- 扉本体… 1 梱包
- 開口枠セット… 1 梱包
- レールセット… 1 梱包
- スチール戸袋セット… 2 梱包 (梱包A/B)
- にぎりバー/錠金具…各 1 梱包

<自閉機能付の場合>

- 扉本体… 1 梱包
- 開口枠セット
- レールセット… 1 梱包
- スチール戸袋セット… 2 梱包 (梱包A/B)
- にぎりバー/錠金具…各 1 梱包

- ◆本製品は、高さカットなしで床上に施工する仕様としております。
枠をカットせずにお使いください。



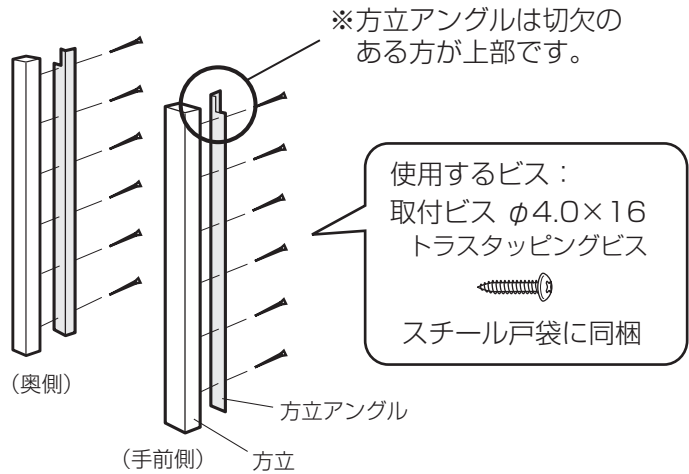
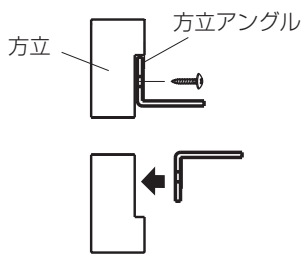
<ラクラクローズ機能付の場合>

1. 枠の組立

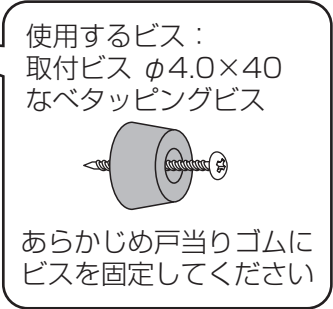
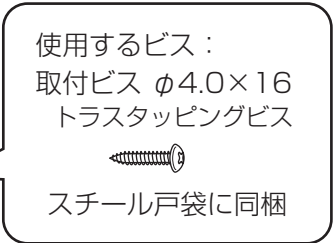
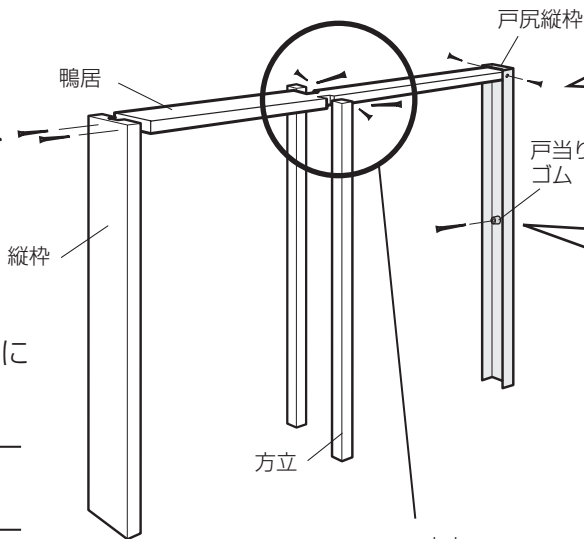
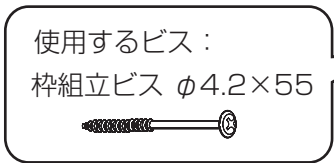
下記の手順で開口枠とスチール戸袋を組み立ててください。

① 方立に方立アングルをとりつけます。

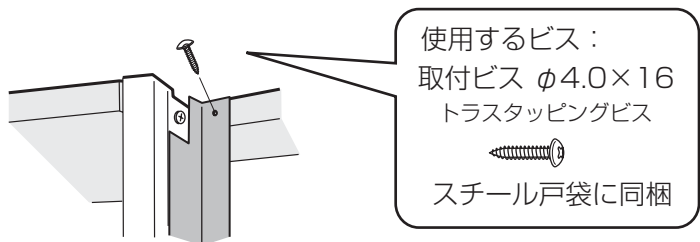
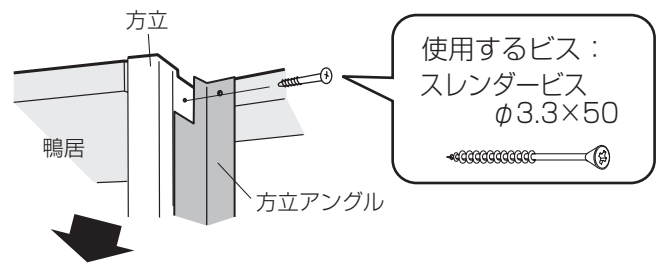
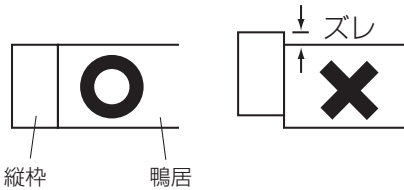
方立の切欠に、方立アングルがピッタリ合うように位置を決めて固定してください。



② 鴨居に縦枠・方立・戸尻縦枠に戸当りゴムを取付けます。



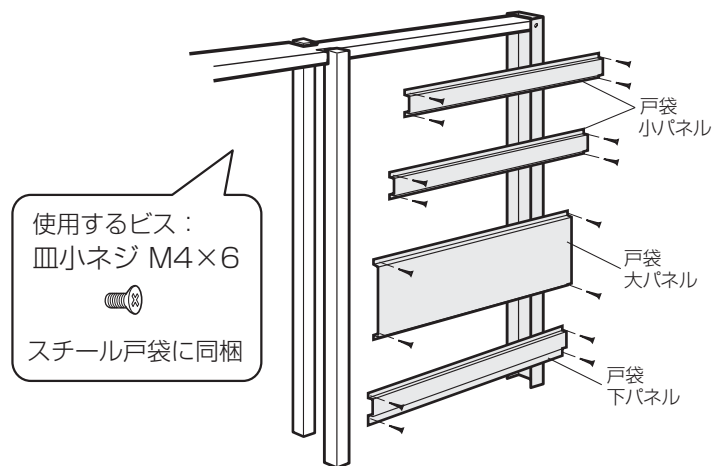
縦枠と鴨居にずれがないように組立ててください。



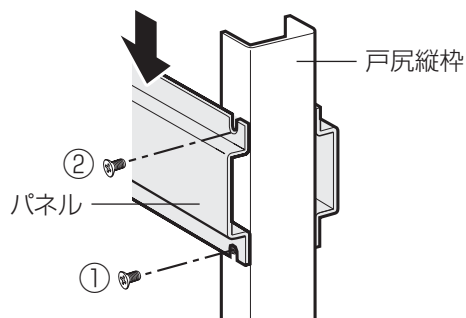
4. 施工方法 (P.8のつづき)

1. 枠の組立(つづき)

- ③ 方立アングル・戸尻縦枠に戸袋パネルを取付けます。



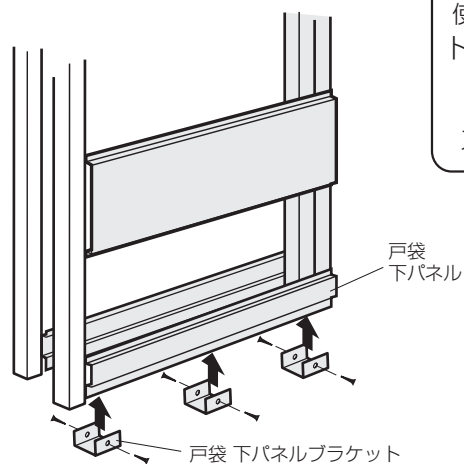
戸尻縦枠と方立アングルに、①戸袋組立ネジを仮止めし、パネルを上からひっかけて、②のネジで固定し、さらに、①のネジを増し締めしてください。



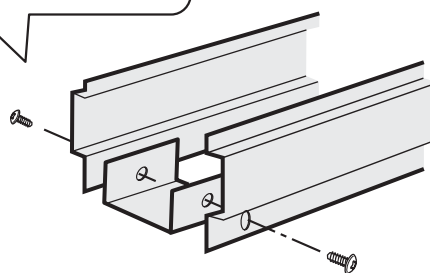
裏側にも同様に戸袋パネルを取付けます。

! 組み立てた枠を動かす際には、必ず2人以上で作業をおこなってください。

- ④ 戸袋下パネルに、下パネルブラケットを取付けます。

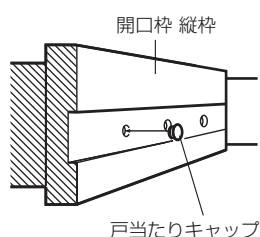



使用するビス：
トラス小ネジ M4×6
スチール戸袋に同梱



2. 開口部への枠の取付

- ① 開口部に組立てた枠をはめ込み、開口枠 縦枠の上部をなべドリルビスで躯体に固定します。
- ② 下げ振りを使って垂直をだしてから、開口枠 縦枠の下部をなべドリルビスで躯体に固定します。
(縦枠と躯体のクリアランスは、カイモノの厚みを調整して埋めてください。)
- ③ 開口枠 縦枠のビス穴に戸当たりキャップを取り付けます。

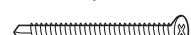


使用するビス：
なべドリルビス $\phi 4 \times 50$

 スチール戸袋に同梱

◆ 施工上のご注意

- 躯体が木造の場合は、 $\phi 4 \times 50$ mm以上のタッピングビスを現場調達して、ご使用ください。

- ④ 水準器を使って鴨居の水平を見ながら、戸袋の戸尻縦枠の上部をなべドリルビスで躯体に固定します。
- ⑤ 開口枠と同様に、下げ振りを使って垂直をだしてから、戸尻縦枠の下部をなべドリルビスで躯体に固定します。
- ⑥ たわみがないように調整しながら、鴨居を皿ドリルビスで躯体に固定します。

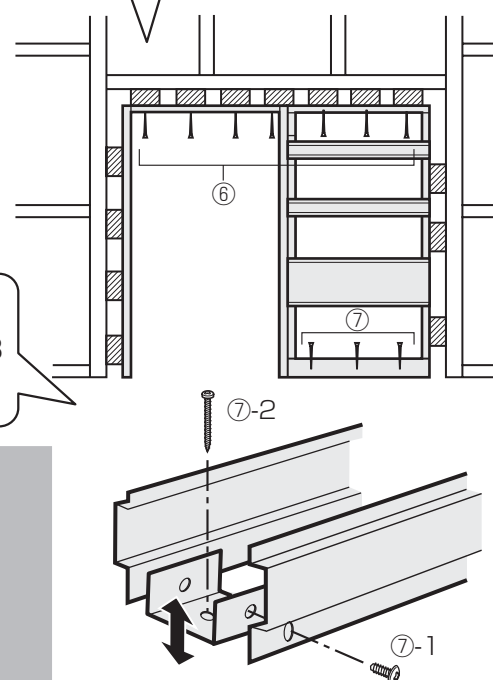
使用するビス：
鴨居：⑥ 皿ドリルビス $\phi 4 \times 40$
 スチール戸袋に同梱 

- ⑦ 下パネルブラケットをなべコンクリートビスで床に固定します。

使用するビス：
⑦ なべコンクリートビス $\phi 4 \times 38$
 スチール戸袋に同梱 

◆ 施工上のご注意

- 戸袋下の床面に、仕上げ材が貼られていない場合などは、戸袋下パネルのネジを緩め (⑦-1)、下パネルブラケットを上下に動かして床下地にぴったり接するように調整してから、なべコンクリートビスで固定し (⑦-2)、再度下パネルのネジを締めて固定してください。



以降の施工手順は、開口枠に同梱の施工説明書に記載の、「吊戸レール取付」項目以降を参照ください。

■定期的な点検項目

※製品の長期間の使用に伴い、部品等が劣化（経年劣化）を生じ安全上支障が出るおそれがあります。経年劣化による重大事故を防止し、製品を長く安全にご使用いただくために、お客様自身による右記の点検を実施いただきますよう、お願いします。

点検部位	点検項目	兆候有無	経年劣化に伴う、具体的な事象
吊車	吊車が扉から抜けかけていないか	有・無	・扉のガタツキ、脱落
床付ガイドピン	扉がスムーズに動くか	有・無	・扉のガタツキ

商品の保証について

商品保証とは、保証期間、保証内容の範囲において故障が発生した場合に、無料で修理をお約束するものです。詳しくは、下記内容をご参照ください。

■対象商品

OMOIYARIドア 吊戸 片引くスチール戸袋
ラクラクローズ機能付・自閉機能付

■保証事項

通常的环境下で、弊社の施工説明書・取扱説明書に準じた正常な施工・使用がなされている状態（前提条件）で、弊社の責任に起因する製品不具合（保証期間参照）を無料で修理します。尚、本内容は日本国内においてのみ有効です。

■保証期間

製品施工完了後2年とさせていただきます。弊社製品の施工完了後に生じた、弊社の責任に起因する製品の不具合を、無料で修理する期間としています。保証期間経過後の修理については有料となります。

■製品の不具合原因が次のような場合には、保証期間内であっても保証対象外になります。

- ①建物の設計・施工に起因する不具合
- ②施工説明書に記載された方法以外の施工内容に起因する不具合
- ③自然現象・周辺環境等（※1）の不可抗力に起因する結露、腐食、反り、割れ又はその他の不具合
- ④室内であっても部屋内外の温湿度差が著しく違う部位に取り付けられたことによる隙間・反り・キシミ音などの不具合。

- ⑤極端に乾湿を繰り返したり、著しく高温・多湿となる部位に取り付けられたことに起因する不具合
 - ⑥建物自体の変形、入居後における増改築や改修等に起因する不具合
 - ⑦入居者又は第三者の不適切な使用又は維持管理等に起因する不具合
 - ⑧取扱説明書記載事項から逸脱した使用に伴う、消耗、磨耗、破損、変形などによる不具合
 - ⑨経時変化による通常一般的な当該保証対象品の変色、汚れ、さび、かび、劣化磨耗などの不具合
 - ⑩用途外に使用された場合の故障および損害
（例えば、一般家庭用を業務用に、屋内用を屋外に使用された場合等）
 - ⑪犬・猫・鳥・鼠などの小動物の害に起因する不具合やキクイムシなどの虫害に起因する不具合
 - ⑫仕上げ面のキズなどの不具合で引渡し時に申し入れがなかった場合
 - ⑬保証期間経過後の申し出、または不具合発生後速やかに申し出がなかった場合
 - ⑭製造時に実用化されていた技術では予測することが不可能な事象に起因する場合
 - ⑮離島などの遠隔地へ出張を要する修理を行う場合、出張に要する実費
 - ⑯その他当該不具合の発生が弊社の責によらない場合
- ※1：火災・地震・水害・落雷などの天災地変や、公害・塩害・ガス害や異常な高温・低温・多湿・過乾燥などの周辺環境

ユーザー登録サービス

製品を末永く安全にご使用いただくために、ユーザー登録をお願いいたします。
ご登録いただいたお客様情報は、製品安全に関する大切なお知らせや暮らしに役立つ情報をDAIKENからご連絡する際に、利用させていただきます。

ユーザー登録は無料です！！

登録はこちらから

<https://www.daiken.jp/qr/user/>



お問い合わせ窓口について ●製品に関するお取扱い、補修、工事などのご相談は、組立て・設置業者、工務店へ。

製品に関するお問い合わせ

DAIKENお客様センター

☎ 0120-787-505
(フリーダイヤル)

●受付時間…平日9:00～17:00
(土・日・祝日・年末年始・お盆はお休みをいただいています)

<https://www.daiken.jp/qr/form01/>

メールで
写真も
送ることが
できます。



修理・交換部品のご購入の方は

DAIKENパーツショップ
部品のネット販売サイトです。

※購入に際しては登録が必要です。

<https://www.daiken.jp/qr/service/>

DAIKENホームページ ▶ お客様サポート ▶

▶▶▶▶ DAIKENパーツショップ



ご相談窓口における
個人情報のお取扱い

DAIKEN株式会社およびDAIKENグループ各社は、当社「個人情報の取扱いに関する方針（プライバシーポリシー）」に則ってお客様に関する個人情報を利用させていただく場合がございます。（DAIKEN株式会社プライバシーポリシーに関しましては、当社ホームページに掲載しております。）なお、電話での相談に対し、折り返し電話をさせていただくためにナンバーディスプレイを採用しています。またご相談内容を正確に把握し、適切に対応するために、通話内容を録音させていただくことがあります。

DAIKEN株式会社

DAIKENのホームページアドレス <https://www.daiken.jp/>